

一 土壤診断を行う意味

作物にはそれぞれ成長するために必要な養分があります。土壤中の養分に過不足があると生育不良となり、安定的に作物を生産することができません。また、過剰な施肥は肥料費の増加につながります。

土壤診断を行い、土壤の状態や養分について把握することで、土づくりや適正施肥に役立てることができます。

一 土壤診断の項目

JJAの土壤診断項目は次の7項目です。

① pH

酸性度を示す値で7を中性とし、7から値が小さいほど酸性となり、7から値が大きいほどアルカリ性となります。表1のとおり野菜の種類によって最適なpHは異なります。pHが適正でないと生育不良や病気になりやすくなります。写真



② 硝酸態窒素

窒素は植物を大きく生長させる主要植物成分で葉肥と言われます。



表1 作物別好適生育pH

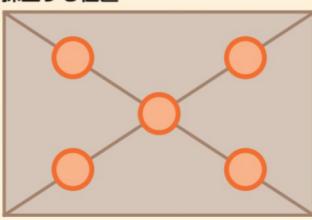
ホウレンソウ	6.5~7.5
ダイコン キャベツ アスパラガス トマト エンドウ	6.0~7.0
カリフラワー ブロッコリー シュンギク レタス ハクサイ ネギ ニラ ナス ピーマン キュウリ カボチャ インゲン エダマメ 落花生 サトイモ	6.0~6.5
ニンジン タマネギ カブ イチゴ	5.5~6.5
サツマイモ ヤマノイモ ミカン	5.5~6.0
バレイショ	5.0~6.5

一 土壤診断の方法(土の採り方)

採土の時期は、作物の生育後期か収穫後が望ましいです。

図のように圃場の5ヶ所から同じ量の土を採土します。畝と畝の間の土を採土し、元肥や追肥を行ったところは避けて下さい。土壤の表面は色々な物質が混ざっているので表面の土を除き、15cmほど深さまで採土して下さい。

採土する位置



お問い合わせは営農販売課まで

☎857-9656

耕作放棄地解消支援補助金のご案内

高齢化・担い手不足により増加する耕作放棄地の解消を図るために経費の一部を助成します。

補助額 20,000円/a

対象者 交付先耕作放棄地を耕作する意欲のある販売農家や新規就農希望者



お問い合わせ 営農販売課 ☎857-9656
横須賀市経済部農業水産課 ☎822-8296

平成30年度は308件の土壤診断を受付



③ カリ

カリは光合成や炭水化物の蓄積に関係します。また、根の発育に作用し根肥と言われます。

④ 苦土(マグネシウム)

苦土は葉緑素の主成分で光合成に関与します。また、作物の生育に必要な養分でもあります。

⑤ リン酸

リン酸は植物の生長、開花、結実を促進します。

⑥ 石灰(カルシウム)

石灰はpHを上昇させるのに用いられます。また、作物の生育に必要な養分でもあります。

導度と言い、この値が高いほど塩類濃度が多いです。EC値を参考に表のようく施肥を調整できます。

施肥前EC値による基肥窒素量補正の目安

土壤の種類 <EC値>	腐植質 黒ボク土 <施肥量>	粘土質・ 細粒沖積土 <施肥量>
0.3mS/cm以下	基準量	基準量
0.4~0.7	2/3	2/3
0.8~1.2	1/2	1/3
1.3~1.5	1/3	無施用
1.5以上	無施用	無施用

営農だより

土壤診断の活用について

営農販売課 福本 洋介

圃場によって土壤中の養分は異なります。土壤診断を行うことで土壤の状態や養分について把握することができます。JAでも土壤診断を実施しておりますので是非ご活用ください。

